

第10回 四大学連合文化講演会

環境・社会・人間における「安全・安心」を探る —安全で安心の出来る社会—

学術研究の最前線をやさしく解説する

2015 10/2 **金** 15:00~18:30 東京医科歯科大学 M&Dタワー2階
鈴木章夫記念講堂 東京都文京区湯島1-5-45

PROGRAM

- 14:20 開場
15:00~15:10 開会挨拶 東京医科歯科大学 学長
15:10~15:20 来賓挨拶 文部科学省
15:20~16:00 「紛争下での安全保障と政治 ~ガザ戦争後のパレスチナ／イスラエルの攻防~」
東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 准教授 錦田愛子
16:00~16:40 「免震構造建物の震災後健全性評価方法」
東京工業大学 応用セラミックス研究所 教授 山田哲
16:40~17:00 休憩
17:00~17:40 「途上国における家計の災害への脆弱性」
一橋大学 経済研究所 教授 黒崎卓
17:40~18:20 「緑内障研究の最前線」
東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授 田中光一
18:20~18:30 閉会挨拶 東京工業大学 学長

講演者紹介



東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 准教授
錦田愛子 にしきだ あいこ

1977年生まれ。東京大学法学部政治学専攻修士課程修了、総合研究大学院大学文化科学研究科博士後期課程修了(博士(文学))。早稲田大学イスラーム地域研究機構研究助手、アジア・アフリカ言語文化研究所非常勤研究員、助教を経て、2014年より現職。専門はパレスチナ／イスラエル、ヨルダン、レバノンを中心とする中東地域研究。著書に『ディアスポラのパレスチナ人』(有信堂)、『中東政治学』(共著・有斐閣)、『「アラブの心臓」に何が起きているのか』(共著・岩波書店)など。

URL <http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/staff/list1/nishikidaa>



東京工業大学 応用セラミックス研究所 教授
山田 哲 やまだ さとし

1965年大阪府生まれ。1990年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、東京大学助手、東京工業大学助教・准教授を経て、2014年より現職。博士(工学)(1994年東京大学論博)1995年日本建築学会奨励賞、2014年日本免震構造協会賞技術賞を受賞。専門は建築構造学、耐震工学。

URL <http://www.serc.titech.ac.jp/~yamadalab/index-j.html>



一橋大学 経済研究所 教授
黒崎 卓 くろさき たかし

1964年生まれ。1987年東京大学教養学部卒業後、アジア経済研究所にて南アジア経済の研究に従事。1995年スタンフォード大学より博士号取得後、1997年に一橋大学経済研究所に異動。主な著作に『貧困と脆弱性の経済分析』(勁草書房、2009年)、『開発のミクロ経済学:理論と応用』(岩波書店、2001年)など。専門は開発経済学、アジア経済論。

URL <http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/faculty/kurosaki.html>



東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授
田中光一 たなか こういち

1958年生まれ。1984年新潟大学医学部卒業、医師国家試験合格。1990年同大学院医学研究科(神経化学専攻)修了、医学博士。同年理化学研究所に特別研究員として採用。1993年国立精神神経センター神経研究所室長を経て、1998年9月より現職。専門は神経科学。

URL <http://www.tmd.ac.jp/mri/aud/index.html>

■主催:四大学連合(東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学)

■企画:四大学連合附置研究所

■後援:お茶の水会、東京外語会、蔵前工業会、如水会

■定員:500名(入場無料)

■お申込・お問合せ先:東京医科歯科大学 難治疾患研究所 総務係

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45

TEL:03-5803-4504 FAX:03-5803-0392

E-mail :mri.adm@cmn.tmd.ac.jp

URL <http://www.yondai.jp/>



■締切:2015年9月18日(金)

参加ご希望の方は、インターネット又は葉書・FAXにて郵便番号・住所・氏名・フリガナ・性別・年齢・職業・電話・FAX・メールアドレス等を明記し、2015年9月18日(金)必着(先着順)で、上記宛先までお申し込み下さい。
(※定員に達した場合、締切日前にお申込を締切らせていただきます。)

東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学は、2001年3月に四大学連合憲章を結び、真に国際競争に耐える研究教育体制を確立すべく、たゆまぬ努力を続けてまいりました。その努力の一環として、世界最先端の研究を強力に推進してきております。そして、この14年間に世界第1級の研究成果を数多く上げてまいりました。第10回目の今回も、学術研究の最前線をわかりやすく解説します。

講演要旨

紛争下での安全保障と政治

～ガザ戦争後のパレスチナ／イスラエルの攻防～

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 准教授 錦田愛子

60年以上にわたり紛争の続くパレスチナとイスラエル。実際に戦争が起きるなかで、人々はどのように安全を確保し、安心を得ようとしているのか。昨年夏のガザ戦争をめぐる双方の応酬と、緊急支援、戦後の政治の展開に基づき考える。

途上国における家計の災害への脆弱性

一橋大学経済研究所 教授 黒崎 卓

災害が生じると人々の生活水準は急低下する。この脆弱性の問題は、開発途上国で特に深刻である。本報告では、家計レベルの脆弱性の問題を開発経済学ではどのように実証分析してきたか、報告者が南アジア諸国で実施してきた実証研究の成果をベースに展望する。

会場案内



東京医科歯科大学 M&Dタワー2階 鈴木章夫記念講堂

- JR御茶ノ水駅 (御茶ノ水橋口出口)
- 東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅
- 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 (B1 出口：JR御茶ノ水駅方面出口)

免震構造建物の震災後健全性評価方法

東京工業大学応用セラミックス研究所 教授 山田 哲

病院などの重要施設だけでなく、多くの建物が免震構造で建てられるようになってきた。免震構造の原理を概説するとともに、地震による揺れを吸収する部材が、大きな地震の後にも健全であるかを迅速に評価する方法について紹介する。

緑内障研究の最前線

東京医科歯科大学難治疾患研究所 教授 田中光一

緑内障は我が国における中途失明原因の第1位であり、網膜の神経細胞が徐々に死んでいく疾患です。40歳以上の有病率は5.0%で、加齢に伴い増加します。本講演では、緑内障研究の現状と新しい治療法の可能性について紹介します。

葉書・FAX参加申込記載事項

第10回 四大学連合文化講演会参加申込書

お名前 _____ 年齢(歳)
 フリガナ _____ 男・女
 職業 学生・会社員・自営業・主婦・教職員・公務員・その他()
 ご住所 〒 _____
 電話番号 _____
 F A X _____
 Email _____

お申込のきっかけ(番号に○をつけてください)

- ① 講演会ホームページを見て
- ② 日本経済新聞の記事・広告
- ③ チラシ・ポスターを見て
- ④ 大学等からの案内(大学名等:)
- ⑤ その他()

※この申込書に記載された内容は、講演会のみを使用します。外部に漏れることはありません。

・葉書送付先:〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45
 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 総務係
 ・FAX送付先:03-5803-0392